



# 2023年12月期 第1四半期 決算説明会

---

井関農機株式会社

2023年5月15日

## 1. 2023年12月期第1四半期 業績の概要

## 2. 国内外市場動向

## 3. 2023年12月期 業績予想

## 4. トピックス



**食**と**農**と**大地**の  
ソリューションカンパニー

# 1. 2023年12月期第1四半期 業績の概要



# ポイント

## <第1四半期業績>

### 増収増益

国内 : 4月からの価格改定への駆け込み需要を捉え増収

海外 : 北米、アジアで足踏むも、  
欧州の増加により全体では増収

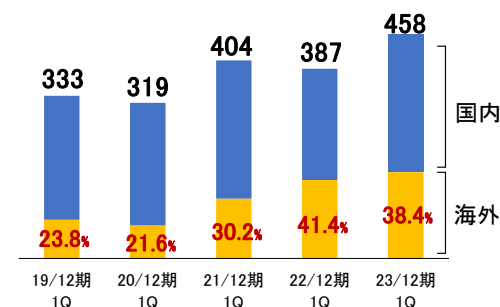
収益 : 増収による売上総利益増に加え、  
価格改定効果などにより増益

## <通期業績予想>

### 当初予想から変更なし

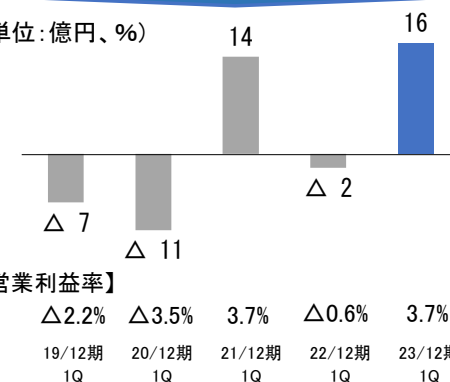
#### 売上高推移(第1四半期)

(単位:億円、%)



#### 営業利益、率 推移(第1四半期)

(単位:億円、%)



# 連結業績の概要

(2023年1月1日～2023年3月31日)

(単位: 億円、%)

	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	前年 同期比
売上高	333	319	404	387	458	+ 70
(国内)	253	250	282	227	282	+ 55
(海外)	79	68	122	160	176	+ 15
営業利益	△7	△11	14	△2	16	+ 19
営業利益率	△2.2%	△3.5%	3.7%	△0.6%	3.7%	+ 4.3%
経常利益	△11	△12	21	0	13	+ 12
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4	△4	19	2	7	+ 4
為替平均 レート (円)						
米ドル	110.5	109.6	104.4	114.8	132.3	+17.5
ユーロ	126.3	120.8	126.8	130.1	141.9	+11.8

# 国内売上高

前年同期比  
+55億円

4月からの価格改定への駆け込み需要を捉え増収

(単位:億円)		19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	前年 同期比
農機 製品 農機 関連	整地機	67	57	66	58	70	+ 12
	栽培機	22	17	25	16	21	+ 4
	収穫調製機	27	20	24	20	39	+ 18
	小計	117	95	116	96	131	+ 34
	作業機	48	41	59	40	47	+ 6
	部品	27	29	30	29	33	+ 3
	修理収入	10	11	11	11	11	0
	小計	86	82	102	81	92	+ 11
	計	204	178	218	177	223	+ 45
	施設工事	5	26	14	7	12	+ 5
その他農業関連	44	46	50	42	46	+ 3	
合計	253	250	282	227	282	+ 55	

## 主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品・作業機は、駆け込み需要を捉え増収(ウイズコロナでの展示会の開催など)
- ✓ 収支構造改革の柱であるメンテナンス収入も伸長(部品、修理収入)

# 海外売上高

前年同期比  
+15億円

北米、アジアで足踏むも、欧州の増加により全体では増収

(単位:億円)	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	前年 同期比
北米	28	23	39	46	38	△ 7
欧州	29	24	59	78	110	+ 32
アジア	20	20	22	35	21	△ 13
その他	0	0	0	1	5	+ 4
連結売上高 合計	79	68	122	160	176	+ 15

## 主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米：コンパクトトラクタ市場の調整局面が継続し減少
- ✓ 欧州：小売店における旺盛なシーズン前の需要を捉えた出荷増に加え、前年下期よりISEKIドイツを連結子会社化したこともあり増加
- ✓ アジア：前年同期にあった韓国排出ガス5次規制に伴う出荷前寄せの剥落

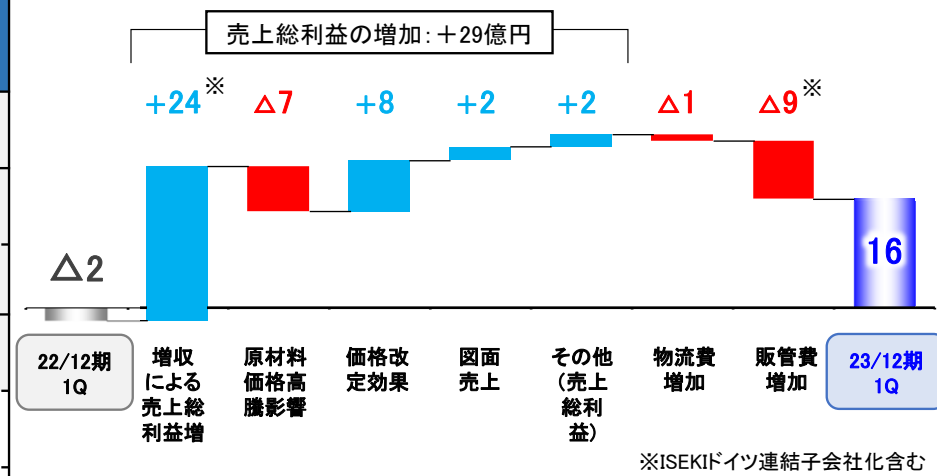
# 営業利益

前年同期比  
+19億円

増収による売上総利益増に加え、価格改定効果などにより増益

(単位: 億円、%)

## 【営業利益増減内訳(前年同期比)】



## 【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+8	△6	△1	+1

	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	前年 同期比
売上高	333	319	404	387	458	+ 70
売上総利益	96	90	117	108	137	+ 29
売上総利益率	28.9%	28.2%	29.1%	27.9%	30.0%	+ 2.1%
販管費	103	101	103	110	120	+ 10
人件費	61	60	60	64	67	+ 3
その他経費	42	40	42	46	53	+ 7
営業利益	△7	△11	14	△2	16	+ 19
営業利益率	△2.2%	△3.5%	3.7%	△0.6%	3.7%	+ 4.3%



# 経常利益、四半期純利益

経常利益  
前年同期比  
+12億円

ESGファイナンス組成等の金融費用計上や為替差益の減少、持分法による投資損失の拡大はあるものの、営業利益の増加により前年同期比大幅増益

(単位: 億円)	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	前年 同期比
営業利益	△7	△11	14	△2	16	+ 19
金融収支	△1	△1	△1	△1	△5	△ 4
その他営業外損益	△1	0	8	4	1	△ 2
経常利益	△11	△12	21	0	13	+ 12
特別利益	0	1	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0
税 前 利 益	△11	△11	20	0	12	+ 12
税、税調整額	7	7	△1	2	△5	△ 8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4	△4	19	2	7	+ 4

## その他営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差益	△1億円
持分法による投資損失	△1億円

# バランスシート

前年同期末比

売上債権：国内外増収により増加

棚卸資産：ISEKIドイツ連結子会社化、北米向け、国内販売会社などで増加

(単位:億円)	22/3月末	23/3月末	増減		22/3月末	23/3月末	増減
現金	104	92	△ 12	仕入債	414	451	+ 36
預金				務			
売上債権	301	380	+ 78	有利子負債	679	803	+ 124
棚卸資産	546	684	+ 137	(借入金)	(608)	(733)	(+125)
(商品及び製品)	(451)	(571)	(+120)	その他負債	200	208	+ 7
(仕掛品)	(82)	(97)	(+15)				
その他流動資産	35	59	+ 24				
流動資産計	987	1,216	+ 228	負債計	1,294	1,463	+ 168
有形固定資産	846	838	△ 8	純資産	662	727	+ 65
無形固定資産	23	24	0	(利益剰余金)	(173)	(211)	(+38)
投資その他資産	98	111	+ 13				
固定資産計	968	974	+ 5				
資産合計	1,956	2,191	+ 234	負債・純資産計	1,956	2,191	+ 234

## 2. 国内外市場の動向



# 国内農機市場の動向

## 国内農機需要

米価下げ止まりはあるものの、資材費高騰等により農機需要は横ばいで推移と想定。  
足許では価格改定(4月:当社・他1社)前の駆け込み需要が全体を押し上げ

### ■ 農機需要〔業界出荷〕(主要9機種・移動年計)



※主要9機種:トラクター、コンバイン、田植機、耕耘機、乾燥機、籾摺機、バインダー、ハーベスター、トリートメント

出所:日農工出荷統計より当社推計

\*コメの相対取引価格:農林水産省が一定規模以上の出荷業者を対象に相対取引価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表している。

## 1-3月の状況

### 1. 国内販売会社実売

農機製品 金額（2023年1-3月）

- ▶ 実売：前年同期比 139%、前々年同期比 114%

### 2. 販売・サービス活動

- ・ Withコロナにより展示会などの営業イベントが増え市場活性化。大規模向けイベントを各地で実施
- ・ 価格改定（4月）前の駆け込みにより需要を押し上げ  
当社農機製品価格改定実施：2023年4月（2回目）
- ・ 自動抑草ロボット「アイガモロボ」販売開始（1月）

## 今後展開等

- ・ ボリュームゾーン中型トラクタ新商品の推進強化
- ・ 4月以降は当用期（春作業）対応及びトラクタや田植機の実演等を推進中。  
→実演の様子を「Amoni」で配信
- ・ 環境保全型スマート農業を提案  
可変施肥田植機やアイガモロボ中心に売上・顧客拡大図る
- ・ スマート農業の推進  
実証プロジェクトで明らかになった経営効果の高い取り組みの水平展開への対応強化
  - ✓ロボット農機
  - ✓可変施肥田植機
  - ✓収量コンバイン など



有人監視型ロボット田植機

## 自治体等との連携

- 黒石市（青森県）と協定締結 2023年3月  
「持続可能な発展のための有機農産物の産地づくり」



＜これまでの自治体・企業等との連携＞

- ・つくばみらい市(茨城県) 2020年3月～
- ・木更津市(千葉県) 2021年3月～
- ・有機米デザイン(株) (東京都) 2021年6月～
- ・奈良みらいデザイン(株) (奈良県) 2021年11月～
- ・新潟市(新潟県) 2022年1月～
- ・島根県、浜田市との3者連携 2022年2月～
- ・ヤマガタデザイン(株) (山形県) 2022年2月～
- ・(株)五右衛門、TDK(株)、有機米デザイン(株)、にかほ市との5者連携

2022年5月～

有機農業普及拡大への貢献  
当社プレゼンスの向上

## 奈良みらいデザイン

- 奈良みらいデザイン(株) & 亅セキ連携の取組み  
「近隣の生産農家と連携した有機米産地づくり」

2022年

- ・アイガモロボ2台(①②0.5ha)による抑草効果の実証

2023年

- ・近隣生産者とタイアップした有機米の産地化  
奈良みらいデザイン+協力生産者3名
- ・土壌診断に基づく栽培技術の習得
- ・アイガモロボ13台(4.2ha)による有機米の栽培

奈良みらいデザイン(株)

放鳥式参加者

宇陀市：金剛市長

南都銀行：橋本頭取

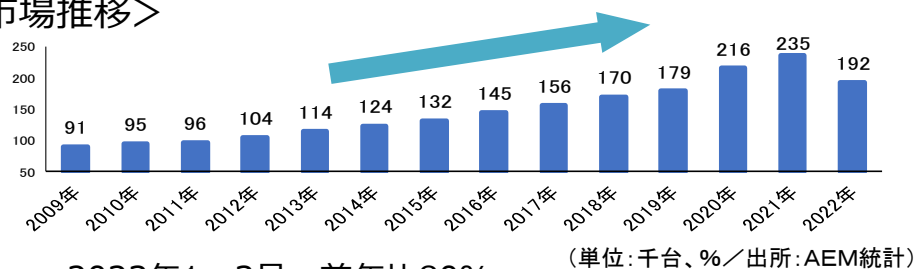
井関農機：縄田本部長



## 北 米

### 1. コンパクトトラクタ市場の動向

＜市場推移＞



・2023年1～3月：前年比80%

### 2. AGCO社(OEM先)の状況

- 実売台数(2023年/1-3月) 前年同期比71%  
2022年後半からの市場調整局面に加え、現地部品調達難もあり、AGCO社の実売は前年同期比減

### 3. 当社の状況

- ・昨年来の受注残は解消。シェア向上・売上拡大に向けたAGCO社の積極的な販促策の実施

## 欧 州

### 1. 市場の動向

- ・欧州全体のインフレに起因する景気後退懸念
- ・景観整備プロ向け市場はサプライチェーン混乱等による製品供給遅れによる業界全体で流通在庫低水準が継続。

### 2. 現地の実売状況

- 実売台数(2023年/1-3月)
  - ・現地販売代理店：前年同期比 85%  
トラクタは供給回復も、乗用モータは在庫不足継続

### 3. 当社の状況

- ・旺盛なシーズン前需要・現地在庫充足に向け出荷増
- ・ISEKIフランス社、ISEKIドイツ社を核とした販売・サービス体制強化、新商品の投入・販売推進の実施
- ・電動モータの顧客評価を継続中

## アセアン

### 1. 市場の動向

<タイ> 米価上昇も、肥料など資材高騰等により稲作向けは購買意欲回復まで至らず、畑作向けは堅調。

<インドネシア> 入札スキーム変更等で上期政府入札は遅延。

### 2. 現地の実売状況

➢ 実売台数(2023年/1-3月)

タイIST社（トラクタ）：前年同期比 96%

### 3. 当社の状況

<タイ>

・既存販売店エリア拡大、新規販売店開拓により営業カバー率向上図る。販売店への営業支援など畑作向け販売強化

<インドネシア>

・入札の推進に加え、一般営業（稲作・パーム等）向け推進強化

## 東アジア

### 1. 市場の動向

<中国> 政府による食糧確保政策で耕作面積・生産量目標は前年以上を堅持。補助金水準も前年維持見込む。排出ガス4次規制前駆込み需要反動減等で業界全体では前年比減を想定も、高性能農機への更新は進む

<韓国> 米価低迷等により市場は縮小も、大型機は微減。

### 2. 現地の実売状況

➢ 実売台数(2023年/1-3月)

・中国(東風井関)

：前年同期比 乗用田植機 80%、トラクタ・コンバイン 95%

### 3. 当社の状況

<中国> 排出ガス4次規制対応商品を順次投入

<韓国> 現地代理店と連携を強化し、高性能農機等、プロ向けの販売・サービス体制強化を図る



## 3. 2023年12月期 業績予想



# 2023年12月期 連結業績予想



## 連結 業績予想

第1四半期の増収増益は当初想定の範囲内で、業績予想の修正なし  
前期比増収、営業増益、期末配当30円

(単位:億円、%)	18/12期		19/12期		20/12期		21/12期		22/12期		※23/12期		前期比
	実績	実績	実績	実績	比率	実績	比率	予想	比率				
売上高	1,559	1,498	1,493	1,581	100.0	1,666	100.0	1,765	100.0	+ 98			
(国内)	1,228	1,177	1,159	1,173	74.2	1,126	67.6	1,215	68.8	+ 88			
(海外)	331	321	333	407	25.8	539	32.4	550	31.2	+ 10			
営業利益	31	27	20	41	2.6	35	2.1	45	2.5	+ 9			
経常利益	26	11	17	46	3.0	37	2.3	40	2.3	+ 2			
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	7	△56	31	2.0	41	2.5	26	1.5	△ 15			
為替平均 レート(円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0	131.3	130.0	△ 1.3					
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8	136.9	140.0	+ 3.1					
期末配当(円)	30	30	0	30	30	30	-						

※23/12期予想: 2023年2月14日公表予想

## 4. トピックス

# G7宮崎農業大臣会合への出展

- 4月22、23日に宮崎県で開催されたG7宮崎農業大臣会合において「乗用電動モア」「アイガモロボ」を出展



イタリア

フランчесコ・ロッロブリージダ  
農業・食料主権・森林大臣



カナダ

マリー・クロード・ビボー  
農業・農産食料大臣



アイガモロボを圃場にて実演

## ■ 「ポジティブ・インパクトファイナンス」 融資契約を締結 \* 2023年3月

当社のサステナビリティに関する取り組みを中心に、特にSDGsの目標達成にインパクトを与える活動として雇用や資源効率、安全性等のテーマについて定性的・定量的に評価を受け、

「Mizuhoポジティブ・インパクトファイナンス」 融資契約を締結 契約金額：130億円

### <インパクト・KPI>

インパクト	KPI	インパクト	KPI
水（質）/大気/土壌	化学物質使用量の削減率	雇用	有給休暇取得率 中途採用者の管理職比率
資源効率・安全性	水使用量の削減率 総物質投入量の削減率	包括的で健全な経済	女性の採用者比率 女性の管理職比率
気候	CO2排出量削減率 ・スコープ1・2（総量） ・スコープ3の取り組み	教育/包括的で健全な経済/食糧	「夢ある農業女子応援プロジェクト」の推進
廃棄物	廃棄物最終処分量の削減率	資源効率・安全性/気候/大気	エコ商品の国内売上高比率
食糧	先端技術関連発明提案件数比率	生物多様性と生態系サービス/食糧	有機農業の面積（水稻）

## ■ DBJ環境格付融資 – 17回連続最高ランクの格付取得 –

株式会社日本政策投資銀行(DBJ)より、  
最高ランクの格付「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価



## ■ 「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に昨年に続き認定

### ※健康経営優良法人認定制度

当制度は、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。



2023  
健康経営優良法人  
Health and productivity

## ■ ステークホルダーエンゲージメント 対話の充実へ 対面型で実施

- ・株主主：株主総会（3/30）、決算説明会（2/20）
- ・お取引先：協力企業IRを開催〔3・4月：購買、各製造所（松山・熊本・新潟）〕
- ・従業員：社内IRを開催（3・4月：東京、つくば、松山、熊本、新潟）  
販売会社は1月にイベントを開催

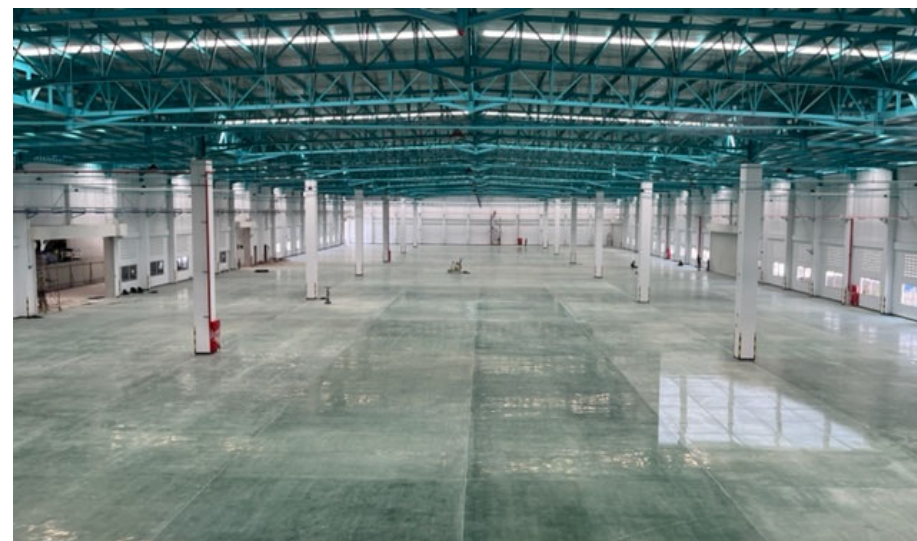
# PT.ISEKIインドネシア増産体制構築

■生産体制 18,000台 → 22,000台へ

\* 3月建屋完成、6月より稼働



PT. ISEKIインドネシア 新建屋



新建屋内部

## 【コンセプト】 国内農業の生産性向上、安全・快適性と環境負荷低減に貢献する商品・サービスの提供

### ◆国内農業の生産性向上

- ✓ 大型、先端、野菜作などの取り組み
- ✓ データ連動型商品(可変施肥等) 等

### ◆安全・快適性と環境負荷低減に貢献

- ✓ 作業効率化(スマート化)による燃費削減
- ✓ 乗用トラクタの安全・快適性能の効果 等



ボリュウムゾーンの中型トラクタを一新！  
「BFシリーズ」を発表

発表日時	2023年6月9日(金) 13:15~15:00 (予定)
形 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リアル開催：茨城県つくばみらい市</li> <li>・ホームページ、メディア発表</li> </ul>





# 将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

井関グループは、  
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。  
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON  
FOOD  
SHIFT**